

これまでの検討と みなさんにお伺いしたいこと

平成21年3月29日(日)

日立道路検討会 PI実施事務局

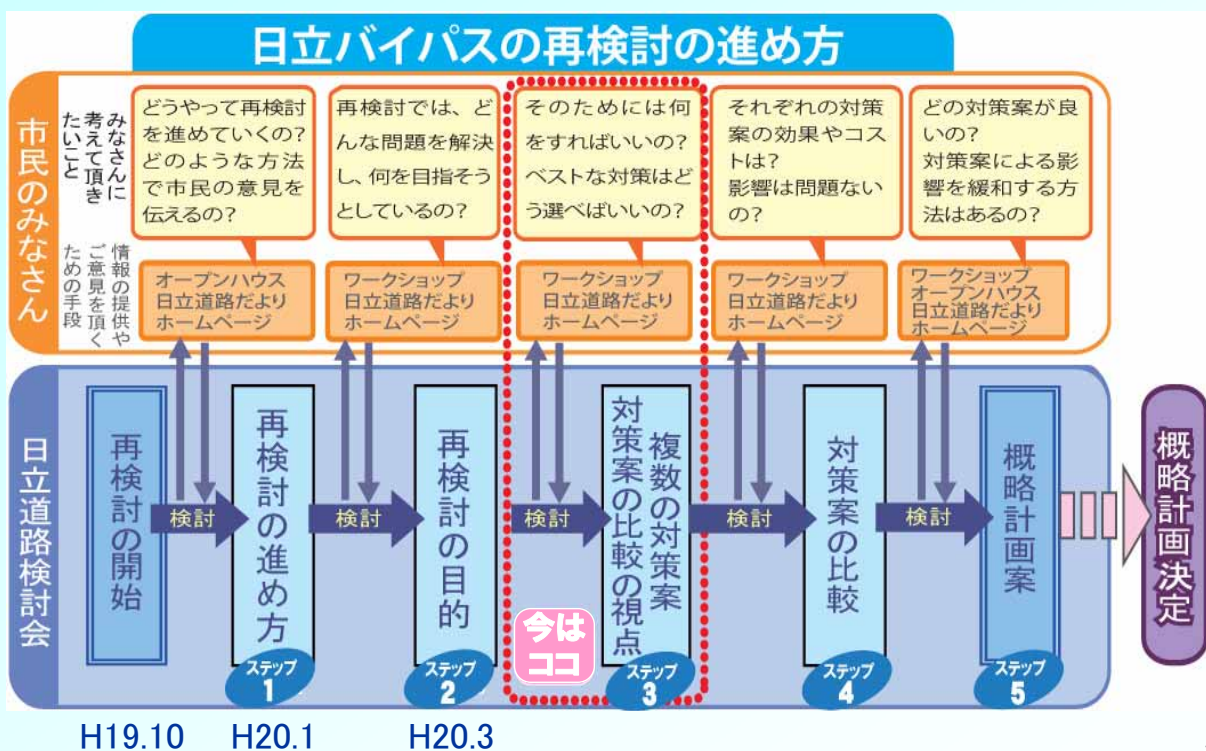
1. プロジェクトのおさらいと 本日のワークショップの 位置づけ

(1) 日立道路再検討プロジェクトとは？

- 長期未着手の都市計画道路のあり方(存続、変更、廃止)を検討するプロジェクト。
- 次の3路線が対象
 - 国道6号日立バイパス**
(旭町～河原子町)
 - 大宮雨降川線**
(鹿島町、弁天町地内)
 - 鮎川停車場線**
(国道245号より東側)

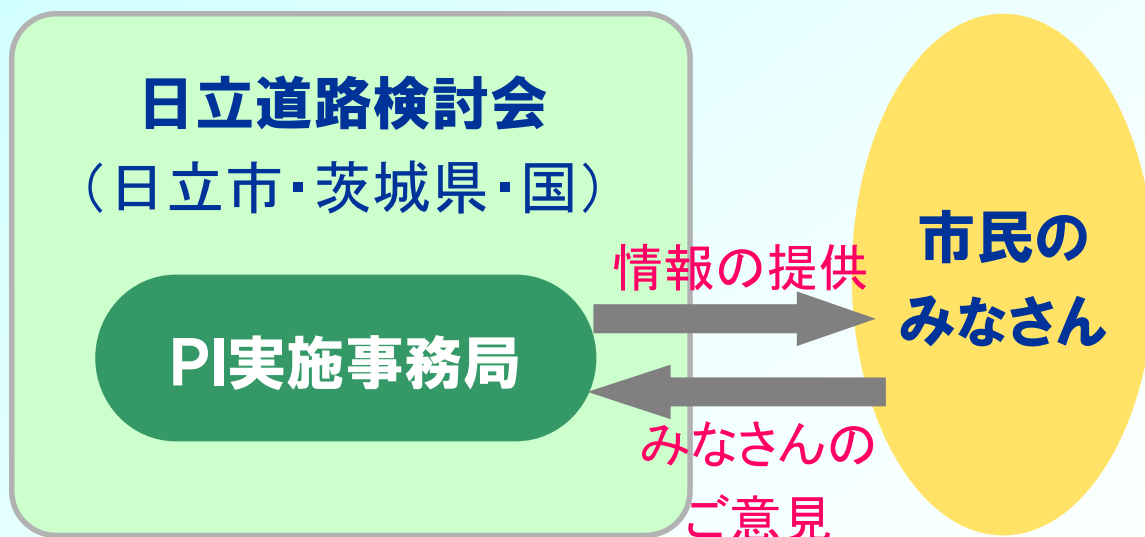


(2) どのような流れで検討を進めているの？



(3) どのような体制で検討を進めているの？

- 日立道路検討会において計画検討を実施。
- 計画検討の材料として活用するみなさんの意見の把握はPI実施事務局が進める。



4

(4) 再検討の目的（再確認）

移動性

南北の幹線道路の渋滞を緩和し、市内の移動の円滑化を図る

安全・安心

市民の生活の安全・安心を確保する

地域活力

日立市の活力を向上させる

環境

良好な自然環境と生活環境に配慮する

事業性

効率的に投資し、早期に目的を達成する

5

(5) 本日のワークショップの位置づけ

第4回ワークショップ(ステップ3の3回目のワークショップ)

本日お伺いすること

- ・対策案の検討の流れで気づいた点
- ・対策案をどのように比較するか

ステップ3のこれまでのワークショップで議論したこと

第2回ワークショップ

- ・「再検討の目的」を達成するための対策案のアイデア
- ・検討にあたって配慮すべきことや場所

第3回ワークショップ

- ・対策案のアイデアの整理
- ・対策案を比較評価するための視点

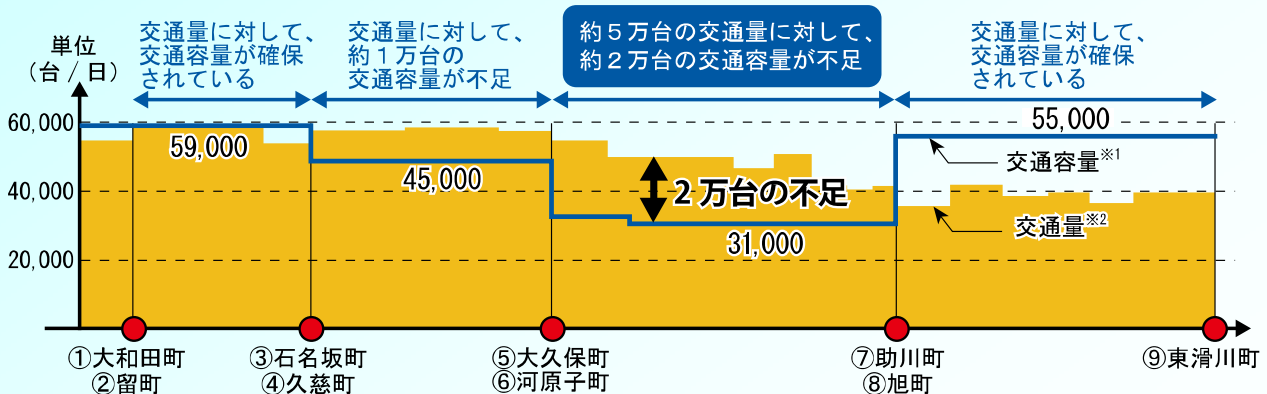
6

2. 『複数の対策案』の検討

(1) 日立市の交通問題(抜粋)

- 南北方向の幹線道路では、予定されている道路整備を見込んだとしても、大久保町・河原子町～助川町・旭町で約2万台の交通容量不足が見込まれ、渋滞をまねく可能性があります。

国道6号と国道245号の断面交通量と断面交通容量



※交通量、交通容量は国道6号と国道245号の合計です。

(2) 交通問題に対応するための施策

特定の道路に交通が集中しないよう、**交通需要**と**交通容量**の**つり合い**をとれるようにすることが必要

■ 交通需要を調整する方法

- 自動車から他の移動手段への変更の促進
- 高速道路の料金値下げによる利用促進 など

■ 交通容量を拡大する方法

- 交差点部の改良
- 新規に道路を整備する方法 など

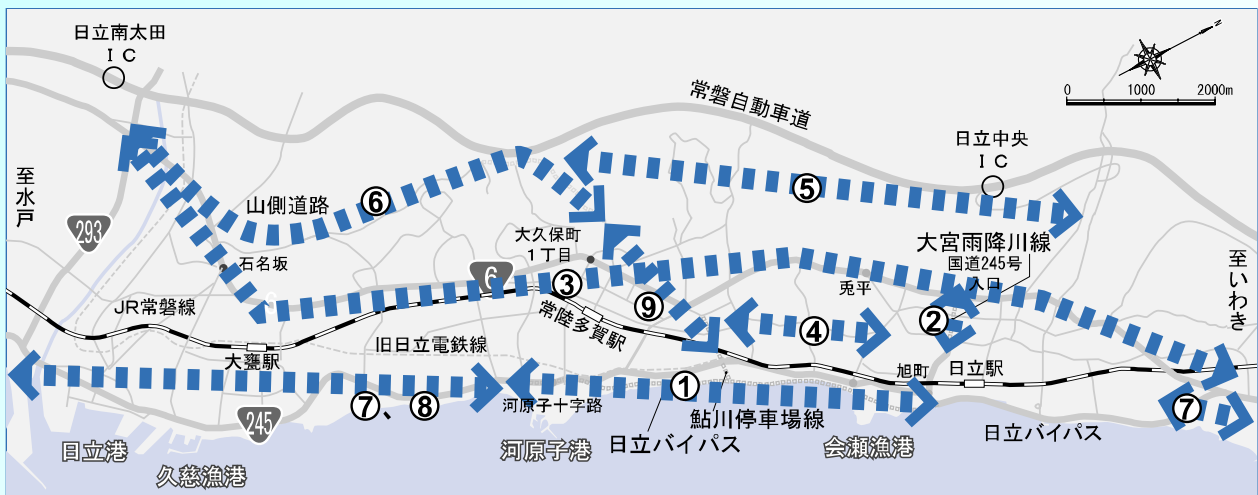


(3) みなさんからこんな施策の提案を頂きました①

公共交通の利便性を向上する	バスの増便や、バス専用レーンを設けてバスの定時性を確保するなど、バスの利便性を向上させ、自動車利用を減らしてはどうか
通勤時の交通量を削減する	時差出勤、ノーマイカーデー、自動車の相乗りなどを促進することで、出勤・帰宅時などピーク時の交通量を削減してはどうか
常磐道を有効に活用する	常磐自動車道の料金の値下げなどにより、市内の一般道の交通を常磐道に転換させることで、市内の渋滞を緩和してはどうか
交通制御を変更する	信号のタイミングを変更したり、交差点を右折禁止にするなど、既存の施設を活用しながら渋滞の原因となる箇所をなくしてはどうか
交差点を改良する	交差点を立体交差化したり、右左折専用レーンを設置するなどして、交差点部の渋滞を緩和してはどうか
新規道路整備は不要	道路整備費用がかかりすぎると思うので、新たな道路の整備をする必要はないのではないか
新たな道路を整備する	新たな道路を整備することで、日立市内の渋滞を緩和してはどうか（具体的には、次スライドのようなアイデアが提案されました）

(3) みなさんからこんな施策の提案を頂きました②

- ① 海岸側に道路を整備する
- ② 大宮雨降川線を拡幅する
- ③ 国道6号を拡幅したり、改良する
- ④ 中央線を拡幅したり、改良する
- ⑤ 山側道路を大久保町より北側に延伸する
- ⑥ 山側道路を整備・改良する
- ⑦ 日立バイパスの現計画をさらに南側、北側に延ばす
- ⑧ 国道245号の南部区間を拡幅する
- ⑨ 山側道路と国道245号を接続する
- ⑩ その他の道路整備



←-----→: みなさんからの「新たな道路を整備してほしい」との提案の①から⑩を概略で示したものです。

(4)市内の交通状況に対応する6つの交通施策

交通需要を調整する施策



公共交通の
利便性向上案



交差点
改良案



常磐道の
有効活用案

局所的に交通容量を拡大する施策



交通制御の
変更案



通勤時の
交通量削減案

抜本的に交通容量を拡大する施策



新規道路
整備案

12

(5)これまでも様々な取り組みが実施されました

交通需要を調整する施策

- 日立地区常磐自動車道社会実験協議会

常磐道の料金割引社会実験

- 茨城県公共交通活性化会議

乗合タクシー「みなみ号」、循環線「ふれあい諏訪号」、助け合いタクシー「なかさと号」

- 日立市公共交通会議(地域公共交通会議)

ノーマイカーデー

- その他

パーク・アンド・バス・ライド試行実験、ぐるっとバス(商店街循環バス)

局所的交通容量拡大施策

- 安全性向上委員会

石名坂交差点付近の交通安全対策

- 日立市渋滞・安全対策検討会

※詳しくは、資料-5 をご覧ください

13

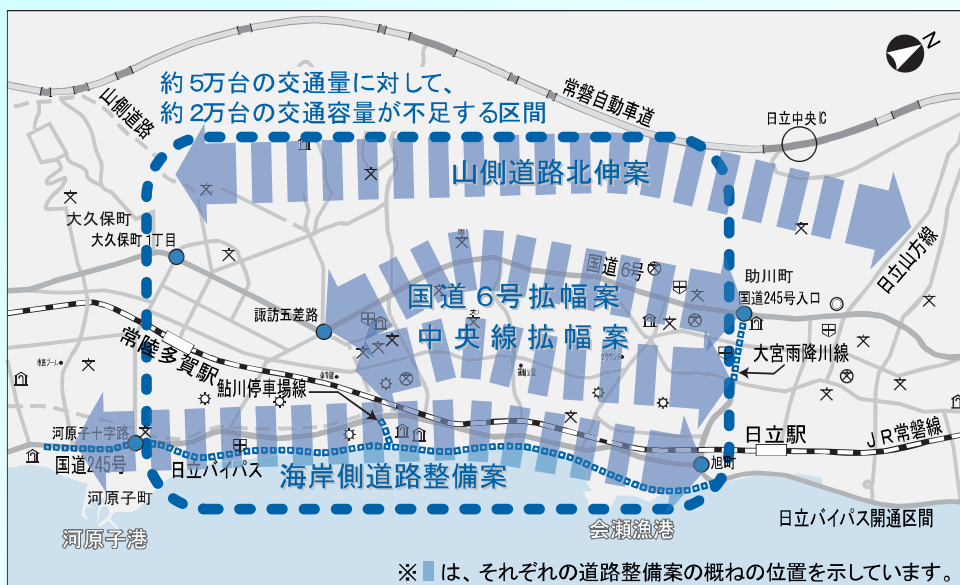
(6) 効率的に交通問題を解決するために必要な交通施策

交通需要を調整する施策	<ul style="list-style-type: none"> ○通勤、通過交通など特定の目的がある交通に対して有効な施策 ○これまでにパーク&バスライドの試行実験、常磐自動車道の料金割引社会実験などを実施 ○現状の混雑を少しでも緩和し、長期的に望ましい交通体系を実現していくために、日立市が公共交通に関して検討している『日立市公共交通会議』や社会実験の協議会などで、引き続き検討
局所的に交通容量を拡大する施策	<ul style="list-style-type: none"> ○即効性のある短期的な渋滞・安全対策として、渋滞が著しい交差点などにおいて有効な施策 ○国、日立市が設置している『日立市渋滞・安全対策検討会』で、引き続き検討・対策を実施
抜本的に交通容量を拡大する施策	<ul style="list-style-type: none"> ○交通容量の不足により渋滞している区間において、交通容量を増やす抜本的な対策として有効 ○現在再検討している日立バイパス(旭町～河原子町間)はこれに該当

日立道路検討会では、**抜本的に交通容量を拡大する施策に**的を絞り、具体的な検討を進める

(7) 抜本的に交通容量を拡大する4つの道路整備案

- 山側道路北伸案** : 山側道路をさらに北に延伸し、日立山方線まで整備
- 国道6号拡幅案** : 諏訪五差路～国道245号入口区間で国道6号を4車線拡幅
- 中央線拡幅案** : 鮎川停車場線～国道245号区間で中央線を4車線に拡幅
- 海岸側道路整備案** : 河原子町～旭町区間で概ねJR常磐線より海側に道路整備



(8)4つの道路整備案の特徴を考察しました①

案	考察結果
山側道路北伸案	<ul style="list-style-type: none"> ●国道6号の混雑緩和、生活道路の安全性向上が期待されるが、山間部を通るため、地域活力の向上は難しく、また、森林などの自然環境への配慮が必要な上、工事に費用や時間がかかる。
国道6号拡幅案	<ul style="list-style-type: none"> ●国道6号の混雑緩和、生活道路の安全性向上が期待されるが、市街地を通るため、国道6号沿いの商業施設の移転等による地域活力への影響や、住宅の移転等による生活環境への影響が懸念され、また、用地取得や移転に時間を要する可能性がある。

※詳しくは、日立道路だより第8号をご覧ください

(8)4つの道路整備案の特徴を考察しました②

案	考察結果
中央線拡幅案	<ul style="list-style-type: none"> ●国道6号の混雑緩和、生活道路の安全性向上が期待されるが、市街地を通るため、中央線沿いの商業施設の移転等による地域活力への影響や、学校や公園の移転等による生活環境への影響が懸念され、また、用地取得や移転に時間を要する可能性がある。
海岸側道路整備案	<ul style="list-style-type: none"> ●国道6号と国道245号の混雑緩和、生活道路の安全性や地域活力の向上が期待されるが、海岸に道路を整備する場合は、海の自然環境への配慮が必要な上、工事に費用や時間がかかる。

※詳しくは、日立道路だより第8号をご覧ください

(9) 海岸側道路整備案が最も有力と考えられます

検討の方針

4つの案は日立市の渋滞緩和や地域の問題解消に貢献はしますが、それぞれに課題もある。「山側道路北伸案」や「国道6号拡幅案」、「中央線拡幅案」は、ある程度ルートも限定され、課題が残るが、「海岸側道路整備案」は、以下の検討を行うことで課題が解消する可能性があり、実現性が高まる。

- 海岸に整備する区間を工夫することで、海への影響を緩和できる。
- 陸上に整備する区間を工夫することで、日立電鉄跡地や空き地を活用して住宅等の移転を減すことなどができる。

日立道路検討会は、
「海岸側道路整備案」の**具体的検討**を進める方針

3. 「複数の対策案」(候補)

(1) 海岸側道路整備案の概要

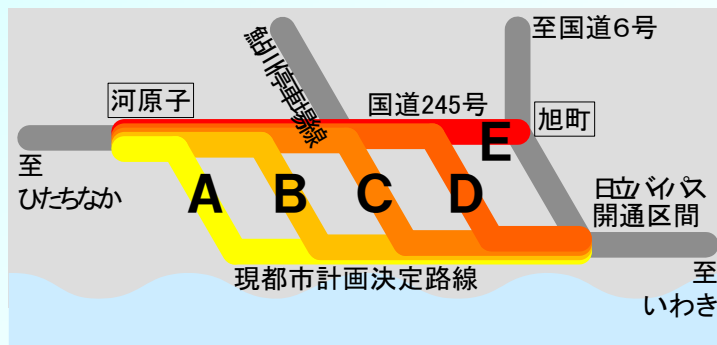
◆海岸側道路整備案の基本内容◆

起 終 点 : 旭町～河原子町

延 長 : 約5.7km

主な構造 : 海岸を通る場合は高架橋や盛土構造、陸上を通る場合は平面構造

そ の 他 : 国道245号(国分町～河原子町)の脇には、日立電鉄の跡地が並行しており、活用が可能



20

(2) 海岸側道路整備案に関する提案

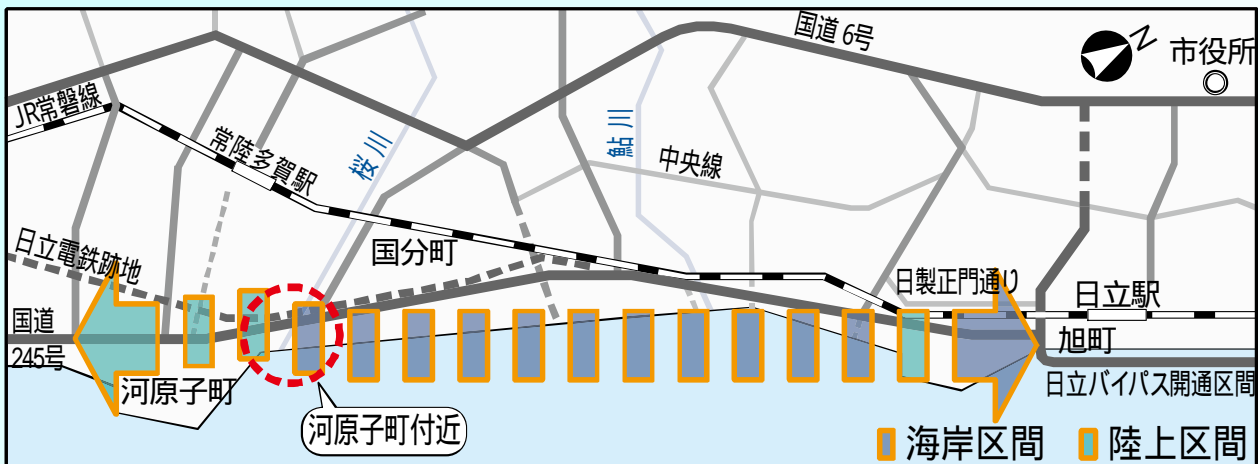
海岸側道路整備案に関する提案	A案	B案	C案	D案	E案
現在の都市計画決定ルートで整備する (河原子町で接続する案や、桜川付近で接続する案を含む)	●	●			
鮎川停車場線で国道245号に接続し、河原子町まで国道245号を拡幅する(旭町～鮎川停車場線間のみの整備案を含む)			●		
鮎川停車場線より北側の鮎川付近で国道245号に接続し、河原子町まで国道245号を拡幅する				●	
国道245号を拡幅する(旭町～鮎川停車場線間のみの拡幅案、正門前通りを活用した上下線分離構造案を含む)					●
日立電鉄跡地などの遊休地や、既存道路などを有効活用して整備する		●	●	●	●
環境影響の軽減などのため構造を工夫する	●	●	●	●	●

※ ●は、みなさんの提案が、A～E案のどの案に含まれるかを示したものです。

21

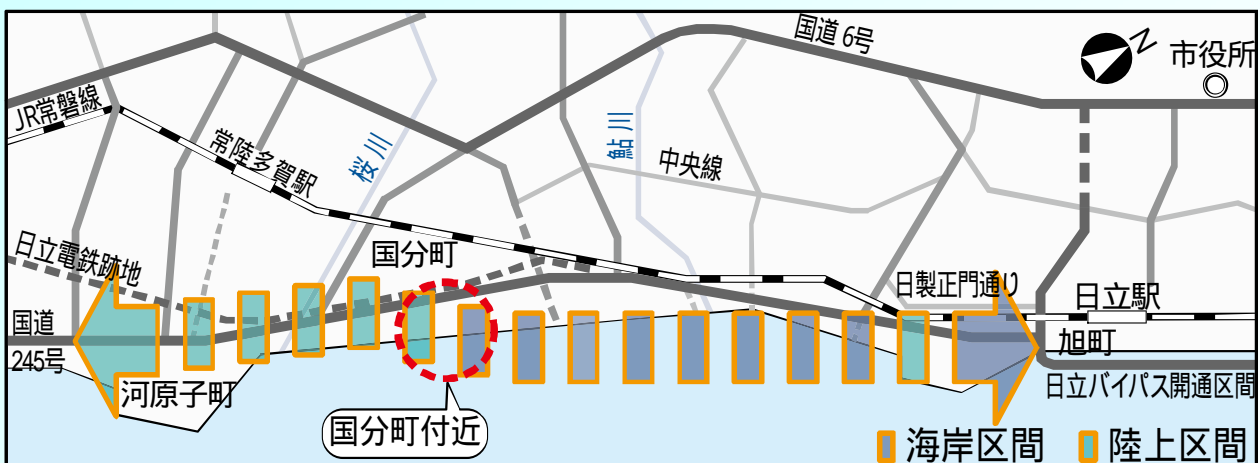
(3) A案 : 河原子町で接続する案

現在の日立バイパス(旭町～河原子町)の都市計画を基本とし、旭町から海岸部を通り、河原子町付近で国道245号に接続し、接続箇所以南は国道245号を活用する案。海岸を通過する**現都市計画**をルート案の1つとして設定



(3) B案 : 国分町で接続する案

旭町から海岸部を通り、鮎川停車場線より南側の国分町付近で国道245号に接続し、接続箇所以南は国道245号を活用する案。鮎川停車場線と河原子町の間にある**国分町の空き地**を利用し、**周辺地域への影響を小さく**して陸側に接続するルートを設定



(3) C案：鮎川停車場線付近で接続する案

旭町から海岸部を通り、鮎川停車場線付近で国道245号に接続し、鮎川停車場線以南は国道245号を活用する案。山側道路までの南北方向の道路ネットワーク形成に主眼を置き、鮎川停車場線で陸側と接続するルートを設定



24

(3) D案：鮎川付近で接続する案

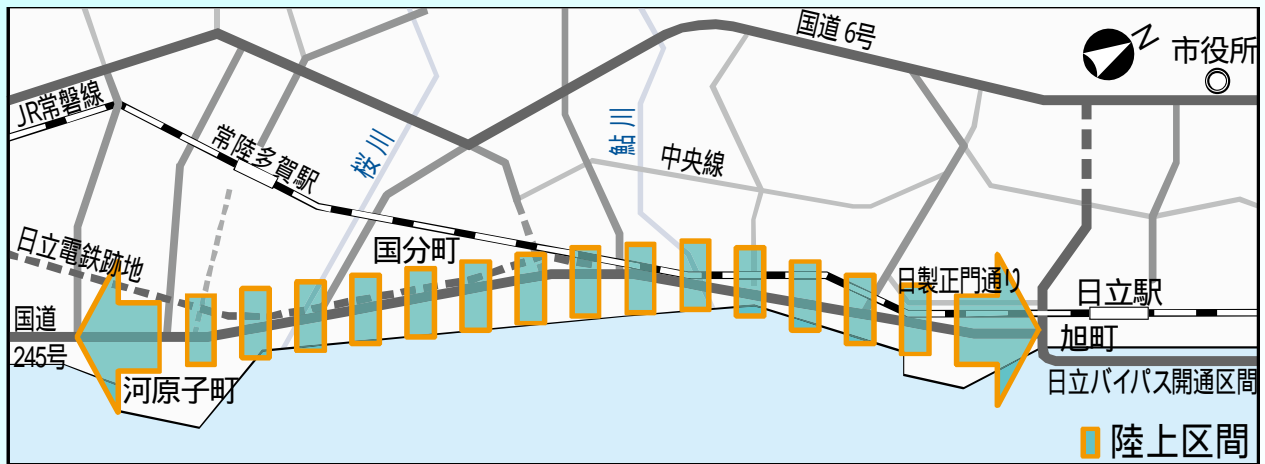
旭町から海岸部を通り、鮎川付近で国道245号に接続し、接続箇所以南は国道245号を活用する案。鮎川付近で陸側に接続する際の勾配を小さくでき、道路を施工しやすいルートを設定



25

(3) E案：全区間陸上とする案

旭町交差点から河原子町まで国道245号や日製正門通りなど現道を活用し、全区間を陸上とする案。現都市計画に対して、**海岸を全く通過しない**ルートを設定



26

4. 「対策案の比較の視点」 (候補)

(1)「対策案の比較の視点」に寄せられたご意見①**移動性**

- 国道6号、国道245号をはじめとした幹線道路の渋滞を緩和してほしい
- 公共交通の移動性を向上してほしい
- 都市活動に関係するさまざまな移動が支えられるようにしてほしい
- 通過交通や市内を移動する交通など、さまざまな交通の混在を防いでほしい
- 新たな道路整備により、地域の交通量が増加することが心配

安全・安心

- 道幅が狭い、カーブやアップダウンが多いなど道路で危険を感じる箇所があり、安全に走行できるようにしてほしい
- 歩行者の安全性を確保してほしい
- 救急車など緊急車両の移動性を確保してほしい
- 災害時でも安全に暮らせるようにしてほしい
- 荒天時に確実に走行できるようにしてほしい

28

(1)「対策案の比較の視点」に寄せられたご意見②**地域活力**

- 日立港や工場へのアクセスを向上してほしい
- 道路を整備する際は、周辺地域にとっても、使いやすい道路としてほしい
- 渋滞緩和や沿道利用により、街の活性化と産業の発展を図ってほしい
- 道路整備により街が衰退しないようにしてほしい
- 観光振興につながるようにしてほしい
- 砲台跡地などの史跡、町並み、海岸沿いでの祭りなど歴史、伝統、文化への影響が心配
- 会瀬や河原子の漁港など漁業への影響が出ないようにしてほしい

29

(1)「対策案の比較の視点」に寄せられたご意見③

環境

- 国道6号、国道245号をはじめとして市内の交通の円滑化による環境改善に期待
- 燃費向上や排出ガス削減など環境負荷を低減してほしい
- 海、海岸、砂浜、海流への影響が心配
- 海岸部の景観や眺望を保全・創出してほしい
- 自然や動植物の生息環境への影響が心配
- 沿道の住環境(騒音、振動、大気汚染、日照)の悪化が心配
- コミュニティや生活の分断が心配

事業性

- 交通問題を早期に解決してほしい
- 国・市の財政状況に配慮して無駄のない投資を行ってほしい
- 安価に実現可能な対策としてほしい
- 維持管理にコストがかからないようにしてほしい
- 空いている土地や既存施設を有効活用してほしい
- 道路整備工事に伴う渋滞を防いでほしい

(2)「対策案の比較の視点」(候補) ①

項目	対策案の比較の視点(候補)	具体的な比較の例
移動性	日立市内を南北に結ぶ幹線道路の渋滞は緩和されるか	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道6号の大久保町～助川町間の渋滞は緩和されるか ● 国道245号の河原子町～旭町間の渋滞は緩和されるか
	道路がそれぞれの機能に応じてバランスよく利用されるか	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内を通り抜ける交通が、幹線道路を利用するか
安全・安心	市内の道路を安全に利用することができるか	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の自動車交通事故は減少されるか ● 生活道路の交通は減少されるか
	緊急時や災害時の安全性が確保されるか	<ul style="list-style-type: none"> ● 救急車が病院までスムーズに移動できるか ● 災害時の避難路が確保できるか

(2)「対策案の比較の視点」(候補) ②

項目	対策案の比較の視点(候補)	具体的な比較の例
地域活力	日立市内の産業を支えることができるか	<ul style="list-style-type: none"> ● 海岸側の工場や海水浴場などへの移動はスムーズになるか ● 道路が通過することで会瀬や河原子の漁場に影響がないか
	地域の活性化が図られるか	<ul style="list-style-type: none"> ● 市の拠点である日立駅～常陸多賀駅間の交流が促進されるか ● 津神社、新城館跡初崎砲台跡など歴史、文化施設に影響がないか
環境	良好な生活環境が確保されるか	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路整備による沿道の生活環境に影響がないか ● 住宅の移転や地区の地域分断などに影響がないか
	海などの自然や景観を保全できるか	<ul style="list-style-type: none"> ● 海への影響がないか ● 海岸の景観に影響がないか
事業性	早期に問題解決が図れるか	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業費は高くないか ● 用地取得や工事に時間がかからないか
	効率的な投資が行われるか	<ul style="list-style-type: none"> ● 日立電鉄跡地などの空き地や既存道路を有効活用できるか

5. みなさんにお伺いしたいこと

本日の議論のテーマ

テーマ 1

- ① 4つの道路整備案それぞれの特徴および考察結果について、お気づきの点があればお聴かせ下さい。
- ② 「海岸側道路整備案」がもっとも実現性の高い案と考え、具体的に検討を進める方針としていますが、この方針についてご意見がありましたらお聴かせ下さい。

テーマ 2

「海岸側道路整備案」をもっとも実現性が高い案とした場合、海岸側の5つのルート案を10の視点で比較していきます。具体的にどのようなことを比較したらよいでしょうか。